



HIMSS報告

Meaningful Use バブル

浜松医科大学医療情報部
木村通男

Contents

- ⌘ HIMSS 15 4月シカゴ
- ⌘ Meaningful Use バブル
- ⌘ HL7 FHIRとv2.

IHE Interoperability Showcase

Strong一家の診療情報連携



HL7 ブースに立ち見





Michio Kimura, MD, PhD, FACMI, Hamamatsu University

ORIONのブース



EPICのブース CERNER, McKessonに負けず



Michio Kimura, MD, PhD, FACMI, Hamamatsu University

Meaningful Use

- ⌘ 適合病院には公的保険は数%のプレミアム
 - ☑ これにKaiserなども同調
- ⌘ 求められるものは
 - ☑ 医療安全
 - ☑ ガイドライン準拠の医療
 - ☑ 患者へ、紹介先への診療情報提供.

HL7 FHIR と v2

⌘ HL7 v2にないもの

- ☑ Webなどからの参照プロトコル
- ☑ 頻用される処方、検体検査など以外のカルテ内容
 - ☒ これらには文書としてCDAが適している

⌘ HL7 FHIRが求められるもの

- ☑ 「患者、施設への診療情報提供」「カルテ内容」
- ☑ FHIR=簡単なカルテ内容+外部アクセスプロトコル

⌘ HL7 FHIRにないもの

- ☑ 部門システムとのメッセージのための細かいエレメント.

日本では

⌘ 処方、検体検査については、オーダがしっかり普及したので、v2メッセージで診療記録とできる

☑️これがSS-MIX標準化ストレージ

☑️v2で書けない、構造のある文書などはCDAを使う

⌘ アメリカでは、オーダが普及する前に、カルテの情報提供が求められたので、MUを満たすためにFHIRが求められた

☑️そもそも、院内に「部門」がないことが多い。

End of presentation



Agra, India

Michio Kimura, MD. PhD, FACMI, Hamamatsu University, School of Medicine